

東京学芸大学国語教育学会
2024年度 第3回例会のご案内

連日、信じられないような猛暑が続きますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。夏休み明けとなりますが、第3回のご案内をすることになりました。今回の例会も、対面とオンラインのハイブリッド開催です。ぜひ、対面でご参加いただけると幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

事務局長 上田真也〔東京学芸大学附属大泉小学校〕

研究主題 探究的なことばの学びを創造する

日時 2024年9月7日(土) 14:00~16:10

会場 東京学芸大学附属大泉小学校【対面開催】

【オンライン参加の場合】ZOOM会議室

ミーティングID 754 7412 1529

セキュリティパスコード gakuda1

招待リンク <https://us04web.zoom.us/j/75474121529?pwd=I7vHR4Rl31Wwa0Eoz0TfUzYMAh65Bd.1>

時程 14:00~

開会

14:10~15:00

研究発表

「昭和43年版学習指導要領における「言語感覚」の位置付けについて」
盛岡大学 笹平真之介 先生

15:10~16:00

「ことばによる見方・考え方の更新を促す教師の役割

—小学校1年生「どうぶつの赤ちゃん」の実践より—

お茶の水女子大学附属小学校 大村 幸子 先生

16:00~16:10

事務連絡 閉会

発表要旨

1. 研究発表

「昭和43年版学習指導要領における「言語感覚」の位置付けについて」盛岡大学 笹平真之介 先生
本発表は、学習指導要領の目標の文言「言語感覚」について、その最初である昭和43年版学習指導要領における位置付けを明らかにする。現在主流の「言語感覚の内実(内容)を確定できる」とする考え方とは異なり、昭和43年度版の考え方では、言語感覚とは内容ではなく(言語の教育を可能にする)条件であったことを述べる。昭和43年度版の考え方として、その改訂に関わった藤原宏が著した解説類に着目する。

2. 実践報告

「ことばによる見方・考え方の更新を促す教師の役割—小学校1年生「どうぶつの赤ちゃん」の実践より—」お茶の水女子大学附属小学校 大村 幸子 先生
本単元は、説明文「どうぶつの赤ちゃん」(光村図書1年下)を読むことを起点に、ことばや筆者の考えとの出会いや、気付きや問いをもとにした他者(友達、筆者、教師)との対話を楽しむとともに、命や生に対する見方・考え方を広げていくことをめざした学習です。実践報告を通して、小学校1年生がどのようなことばに立ち止まり、ことばによる見方・考え方を更新するのか、その際、他者との関わりはどのように構成されるのか、また、こうした学びを促進するために教師はどのように支援していくのかなど、考えていきたいと思えます。

参加費 無料

※学会員の方は年会費(一般5,000円、学生3,000円)をいただきます。

※年会費の納入方法は、以下の口座への振り込みとなっております。

お早めにお振込み下さい。

★会費納入先口座★

三菱UFJ銀行(旧 三菱東京UFJ銀行) 国分寺支店(店番 557)

普通 2039194 名義 東京学芸大学国語教育学会事務局 片山 守道

- ・本学会は、国語科教育に関心のお持ちの方ならばどなたでも入会できます。
- ・本学会に関するお問い合わせは、学会事務局(東京学芸大学附属大泉小学校・上田真也 ueshin@gakugei.ac.jp)までお願いいたします。
- ・第4回例会は、10月12日(土)の開催となります。会場は東京学芸大学附属大泉小学校です。
- ・同時にオンライン(zoom会議室)でも参加が可能です。